

HANDY TERMINAL BS·BB IOBOX 解説書





目次

§1. 概要	3
§2. 製品構成	4
2-1.機器構成	
2-2. ソフトウェア構成	
2-3.ソフトウェア構成(HT)	
2-4.動作環境	
§3. 機能(I/O BOX)	7
3-1.B.S/B.B I/O BOXの機能	
<i>3-1-1.機能一覧</i>	
<i>3-1-2.ディップスイッチ</i>	
3-1-3.LED	
§4. ドライバのインストール	
4-1.USBドライバインストール	
<i>4-1-1.インストール</i>	
<i>4-1-2.アンインストール</i>	
4-2.RS-232C ドライバインストール	
<i>4-2-1.インストール</i>	
4-2-2. アンインストール	
§5. 注意事項/制約事項	
5-1.注意事項	
5-2.制約事項	



§1. 概要

本解説書は、新I/O BOX(ブリッジサテライト、ブリッジベーシック)でのアップダウンロード機能に関して述べたものです。

以降、ブリッジサテライトは「B.S」、ブリッジベーシックは「B.B」と表記します。

- ・ B.S I/O BOX : PC との接続は、USB もしくは RS-232C で行います。
- **B.B** I/O BOX : PC との接続は、USB のみで行います。

接続構成については、「2-1.機器構成」を参照してください。 また、特に記載がない場合は、ハンディターミナルは「HT」と表記します。

B.S/B.B I/O BOX は、下記の製品に対応しています。

	B.S. IO	B.B. IO
DT-300	DT-364IO [%]	
DT-870	DT-861IO	
DT-5100	DT-5164IO	DT-5160IO
DT-9700	HA-B61IO	
DT-950	HA-A61IO	HA-A60IO
DT-10	HA-C61IO	

[※]DT-364I0で使用できる通信ソフトはLMWINです。

それ以外の I/O ボックスでは、LMWIN と ActiveSync が使用出来ます。



§2. 製品構成

アップダウンロード時の機器構成及びソフトウェアの構成について説明します。

2-1.機器構成

■B.S I/O BOX(USB/RS-232C ケーブル接続)

(1)単体接続の場合







RS-422 連鎖接続

USB/RS-232C 接続

■B.B I/O BOX(USB ケーブル接続)



USB ケーブルを使用して、PC と1対1でのみ接続を 行います。 接続時のボーレート設定は、以下の通りです。 ・USB 接続 : 4Mbps/115.2Kbps ※RS-422 ケーブルを使用しての連鎖接続は行えま せん。

USB/RS-232C ケーブルを使用して、PC と1対1で

: 4Mbps/115.2Kbps

接続時のボーレートの設定は、以下の通りです。

・RS-232C 接続 : 115.2Kbps

接続を行います。

・USB 接続



2-2.ソフトウェア構成

■ActiveSync の接続に関して

ActiveSyncの接続は、必ずVersion3.5以上を使用して下さい。

※ Microsoft 社の HP から最新の物をダウンロードして使用して下さい。

Program	機能	B.S	B.B
		I/O BOX	I/O BOX
ActiveSync	ファイル転送/データ同期	0	0

2-3.ソフトウェア構成(HT)

本マニュアルにおいて、HTの機能詳細等に関しては特に記載しておりません。 詳細については、該当するHTのマニュアル(仕様書)等を参照してください。



2−4.動作環境

■HT 側

・DT-870/DT-5100/DT-9700/DT-950/DT-10(Microsoft WindowsCE . NETのHT) ・DT-300(レーザスキャナー体型のHT)

■PC側の動作環境

- •Microsoft Windows Me
- ・Microsoft Windows 2000 SP3以上
- ・Microsoft Windows Xp SP1以上
- ※Microsoft 社が推奨するメモリ等のスペックを満たした PC を使用してください。



§3. 機能(I/O BOX)

3-1.B.S/B.B I/O BOX の機能

3-1-1.機能一覧

項目		仕様		備考
動作環境	HT側	機種	DT-870/DT-5100	WinCE .NET 対
			DT-9700/DT-950/DT-10	応
			DT-300	レーザスキャナー
				体型
		HT IR速度	FIR 接続時 MAX 4Mbps(USB 単体接	
			続時のみ)	
			SIR 接続時 115.2Kbps	
	I/O BOX 側	USB I/F 仕様	パソコンへ接続し、データの転送を	接続前に PC 側に
			行います。	専用ドライバのイン
			通信速度:4Mbps	ストールが必要
			I/O BOX:B.S/B.B I/O BOX	
		RS-232C I/F 仕	パソコンへ接続し、データの転送を	接続前に PC 側に
		様	行います。	専用ドライバのイン
			通信速度:115.2Kbps	ストールが必要
			I/O BOX:B.S I/O BOX のみ	
		RS-422 I/F 仕様	I/O BOX 間の接続に使用します。	B.S I/O BOX のみ
			通信速度:115.2Kbps	
			I/O BOX:B.S I/O BOX のみ	
運用/設定	運用	ホスト1対1接続	USB/RS-232C 接続	
		連鎖接続	RS-422 接続(最大 8 台連鎖)	B.S I/O BOX のみ
	設定	通信設定	本体裏面ディップスイッチ(3-1-2参照)	
	LED	3個	電源状態/通信状態	
		赤/緑/消灯/	システム稼動表示用	
		点滅		
	給電	本体給電機能	あり	

3-1-2.ディップスイッチ

RS-422 速度切り替え

速度(bps)	bit1	bit2	備考
禁止	OFF	OFF	
115.2K	ON	OFF	115.2Kbps
禁止	OFF	ON	
禁止	ON	ON	

動作モード切り替え

動作モード	bit3	bit4	備考
アクティブ動作	OFF	OFF	ホストコンピュータと接続する。
パッシブ動作	ON	OFF	連鎖接続時の中間(終端)に接続する。
禁止	OFF	ON	
禁止	ON	ON	



終端処理

終端	bit5	備考
通常	OFF	
終端	ON	

ホスト PC I/F

ホスト PC I/F	bit6	備考
RS-232C	OFF	ホストコンピュータとRS-232C 接続する。
USB	ON	ホストコンピュータと USB 接続する。

無効(bit7•8)

リザーブ	bit7	bit8	備考
_	OFF	OFF	未使用。(OFF に固定)

※ディップスイッチのデフォルト値は、下記の通りになっています。

ONのDipSW:bit1/5/6

・RS-422 速度切り替え:115.2Kbps

・動作モード:アクティブ動作

•終端:終端

・ホスト PC I/F:USB

※尚、ディップスイッチの設定変更の際は、必ず I/O BOX の電源を切った状態で行って下さい。



3-1-3.LED

LED	機能名称	状態表示
Line	システム稼動表示用	システムが正しく稼動していることを表示します。
	LED(RS-232C 接続時)	HT 本体の装着と関係なく、システムの稼動状況/システムとの通信
		可否を表示します。
		消灯:I/O BOX に接続されたすべての HT が非通信。
		またはシステム異常
		緑色点灯:システムが正しく稼動し、I/O BOX に接続された HT の
		いずれかかが通信中。
	システム稼動表示用	システムが正しく稼動していることを表示します。
	LED(USB 接続時)	HT 本体の装着と関係なく、システムの稼動状況/システムとの
		通信可否を表示します。
		消灯:I/O BOX が PC と接続されていません。
		緑色点灯:I/O BOX と PC が正しく接続されています。
Data	通信状態表示用 LED	HT が通信を行っていることを表示します。
		消灯:通信していません。
		緑色点滅 :通信中です。
		赤色点灯:I/O BOX 間の接続が異常です。
Ready	電源表示用 LED	電源の状態、HT 本体の装着状態を表示します。
		消灯:電源 OFF。
		赤色点灯:電源 ON、HT 本体は非装着です。
		緑色点灯:電源 ON、HT 本体が正常に装着されています。

3つの LED により、I/O BOX の動作状態を示します。



§4. ドライバのインストール

ここでは、下記ドライバのインストール手順に関して述べたものです。

- ・ USBドライバ(IRXpressUSBIrDA.exe)
- ・ RS-232Cドライバ(IRXpressSerialIrDA.exe)

USB/RS-232Cドライバでは、インストールする PC により、手順に違いが発生します。 以降、特に表記がない場合は、手順毎に区分し、下記の通りに表記します。

- ・ WindowsMe は、以降「WinMe 系」と表記します。
- ・ Windows2000/WindowsXPは、以降「Win2000系」と表記します。

※手順は、同じでもOSにより画面の色調やアイコンの形状等のデザインが異なる場合がありますので、

ご注意ください。

これらのドライバは、1 台の PC に共存させることが出来ますが、インストールは USB ドライバから先に行って下さい。



4-1.USB ドライバインストール

USBドライバのインストール手順について説明します。

4-1-1.インストール

以下の手順で、(1)~(6)の説明は全 OS 共通です。「4-1-1-1.全 OS 共通」をご覧ください。 (7)以降の説明は、OS により異なりますので、「4-1-1-2.Win2000 系」と「4-1-1-3.WinMe 系」をご覧ください。

4-1-1-1.全 OS 共通

(1) 供給されたメディアから「IRXpressUSBIrDA.exe」を起動してください。

🔁 Driver	
」 ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻)	お気に入り(A) ツール(T) ヘルブ(H) 198
」 ← 戻る マ ⇒ マ 🔄 🛛 🖓 検索	13-フォルダ ③履歴 13 12 × ∞) 囲・
]アドレス(D) 🧰 Driver	▼ ∂移動
Driver	IRXpressUSBI rDA
IRXpressUSBIrDA アプリケーション	
更新日時: 2002/11/13 15:10	
サイズ: 1.10 MB	
属性: (標準)	
l 種類: アプリケーション サイズ: 1.10 MB	1.10 MB 🖳 マイ コンピュータ 🥼



Noriver		
ファイル(E) 編集(E) 表示	⊻ お気に入り(Δ) ツール(① ヘルブ(出)	-
← 戻る - → - 🖻 Q4	嬬 沿フォルダ ③履歴 階 階 🗙 ∽ 囲•	
アドレス(D) 🗋 Driver	- ć	≥移動
Driver	IRXpressUS	
IRXpressUSBIrDA アプリケーション 再生日時、2002年11月21日		
世紀70110 MP	IIShield Wizard	
属性: (標準)	IRXpress USB IrDA Setup is preparing the InstallShield[r] Wizard which will guide you through the rest of the setup process. Please wait.	
	98 %	
軽類: アプリケーション サイズ: 1.10	MB 1.10 MB 🛄 כל בטציע-א	

(2)「IRXpress USB IrDA.exe」を起動すると、「InstallShield Wizard」が準備されます。

(3) 準備が完了すると、バックグラウンドが「InstallShield Wizard」画面に切り替わります。





(4) バックグラウンドが切り替わった後、セットアップ画面がポップアップ表示されますので、「Next」をクリック してください。



※以降の説明では、バックグラウンドを除いたポップアップ画面のみを表示します。



(5) インストール先を指定し、「Next」をクリックしてください。

RXpress USB IrDA – Insta	IIShield Wizard
	Setup will install IRXpress USB IrDA in the following directory. To install to this directory, click Next. To install to a different directory, click Browse and select another directory. You can choose not to install IRXpress USB IrDA by clicking Cancel to exit Setup.
	Destination Directory C:\\RXpress\RXpress USB IrDA Browse
InstallShield ————	< <u>B</u> ack <u>Next></u> Cancel

特に指定のない場合は、自動的に"C:¥Program File"の下に「IRXpress」→「IRXpressUSBIrDA」フォルダ が作られ、そこにインストールされます。

他のフォルダにインストールする場合は、「Browse」をクリックし、インストール先を指定してください。

(6) インストール先の設定条件が表示されますので、「Next」をクリックしてください。

IRXpress USB IrDA - Insta	Setup has enough information to start copying the program files. If you want to review or change any settings, click Back. If you are satisfied with the settings, click Next to begin copying files.
	Current Settings: Setup Type: Complete Target Folder C:\Program Files\IRXpress\IRXpress USB IrDA User Information Name: Company:
InstallShield	< <u>B</u> ack <u>Next</u> > Cancel

※これ以降は、OS により手順が違いますので、各 OS 毎の説明を参照してください。 尚、各 OS 毎の説明は(7)~になります。



4-1-1-2.Win2000 系

4-1-1-2-1.インストール

(7) インストールが完了しましたので、「Finish」をクリックしてください。

RXpress USB IrDA – InstallShield Wizard				
InstellShield	Setup has finished copying files to your computer. Before you can use the program, you must restart Windows or your computer. Yes, I want to restart my computer now No, I will restart my computer later. Remove any disks from their drives, and then click Finish to complete setup.			
	< <u>B</u> ack. Finish			

PCを再起動しますので、使用中の他のアプリケーションは終了させてください。 ※「Yes・・・」にマークし、PCの再起動を行ってください。



4-1-1-2-2.通信速度の設定

USBドライバのインストール終了後、下記手順で通信速度の設定を行います。

(1)「コントロールパネル」の「デバイスマネージャー」から、「IRXpress Infrared Device」のプロパティ を開いて通信速度を選択し、「OK」をクリックする。

IRXpress Infrared Deviceのプロパティ 全般 「詳細設定 】ドライバー 電源の管理 】	<u>? ×</u>
このネットワーク アダプタでは次のプロパティを利用できます。左側で変更するプロパラ リックしてから、右側でその値を選択してください。	F-180
プロパティ(<u>P</u>): (値(い): Maximum Connect Rate 4000000 bps	
OK	ンセル

※通信速度は、以下の通りに設定してください。

- ・単体接続の場合:「4Mbps」と「115.2Kbps」のみを使用してください。
- ・連鎖接続の場合:「115.2Kbps」のみを使用してください。

※上記設定画面を表示するまでの手順は以下の通りです。

- 「コントロールパネル」→「システム」→システムのプロパティ画面で、ハードウェアを選択 →デバイスマネージャを選択→赤外線デバイスの「IRXpress Infirated Device」を選択 →詳細設定選択→上記設定画面を表示。
- ※I/O BOX (電源 ON 状態)を接続した状態でしか、デバイスマネージャー上には 表示されません。

上記設定を行う際は、I/O BOX を接続させてから行ってください。

■注意:

・通信速度を変更する場合は、必ず他のアプリケーションは終了させてから行ってください。



4-1-1-3.WinMe 系

4-1-1-3-1.インストール

(7) 赤外線デバイスのインストール画面が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



(8) 赤外線デバイスウィザード画面が表示されますので、設定を行った後「OK」をクリックしてください。

赤外線デバイスウィザード 🛛 🗙
赤外線デバイスの製造元とデバイスの種類をクリックし、次に [DK] をクリックしてください。インストール ディスクがある場合 は、[ディスク使用] をクリックしてください。
製造元(M): 赤外線デバイス(D):
(赤外線 COM ポートまたは IRXpress USB Infrared - Windows Me
ASIO Computer Co.,
<u>ディスク使用(H)</u>
OK キャンセル

〔設定〕

- ・ 製造元 :CASIO Computer Co.,
- ・赤外線デバイス:インストールを行うPCのOS(WindowsMe)を選択してください。



(9) 通信速度を設定し、「次へ」をクリックしてください。

赤外線デバイス ウィザード	
	次の赤外線デバイスを選択しました: IRXpress USB Infrared - Windows Me
	Maxiumum Connect Rate 4000000 bps 115200 bps 57600 bps 38400 bps 19200 bps 9600 bps
	項目を選択し、[次へ]をりリックしてください。 < 戻る(B) 次へ > キャンセル

※通信速度は、以下の通りに設定してください。

- ・単体接続の場合:「4Mbps」と「115.2Kbps」のみを使用してください。
- ・連鎖接続の場合:「115.2Kbps」のみを使用してください。

(10) 通信ポートの設定を行って、「次へ」をクリックしてください。

赤外線デバイス ウィザード	
	シミュレート用のシリアル ボートとプリンタ ボートを選択してください。 赤外線アプリケーションはこれらのボートを通じて赤外線デバイスにア クセスします。
	赤外線シリアル (COM) ポート: COM5
	赤外線ブリンタ (LPT) ポート: LPT4
	これらを赤外線ボートとして使用する(こは、「既定のボートを使う」 を クリックしてください。 別のボートを指定する(こは、「ボートを変更する] をクリックしてください。
	◎ 既定のボートを使う(推奨)
	○ ポートを変更する
	< 戻る(B) 次へ > キャンセル

設定は「既定のポートを使う」を選択してください。



(11) 設定が終了しましたので、「完了」をクリックしてください。

赤外線デバイス ウィザード	
	[完了] をクリックすると、赤外線デバイスのインストールが完了しま す。
	< 戻る(B) <u> 完了</u> キャンセル

(12) インストールが完了しましたので、「Finish」をクリックしてください。

IRXpress USB IrDA - InstallShield Wizard				
InstallShield	Setup has finished copying files to your computer. Before you can use the program, you must restart Windows or your computer. Image: Yes, I want to restart my computer now. Image: Yes, I want to restart my computer now. Image: Yes, I want to restart my computer now. Image: Yes, I want to restart my computer now. Image: Yes, I want to restart my computer now. Image: Yes, I want to restart my computer now. Image: Yes, I want to restart my computer now. Image: Yes, I want to restart my computer later. Image: Yes, I want to restart my computer later. Remove any disks from their drives, and then click Finish to complete setup.			
THE OTHER PARTY OF THE OTHER	< <u>B</u> ack. Finish			

PCを再起動しますので、使用中の他のアプリケーションは終了させてください。 ※「Yes・・・」にマークし、PCの再起動を行ってください。

インストール後、初めて I/O ボックスを接続し、電源を投入すると「新しいハードウェアが検出されました」 のメッセージウィンドウが表示されます。



4-1-1-3-2.通信速度の設定

USBドライバのインストール終了後、下記手順で通信速度の設定を行います。

(1)「コントロールパネル」の「ネットワーク」から、「IRXpress USB Infrared - WindowsMe」のプロパティ を開いて通信速度を選択し、「OK」をクリックする。

※通信速度は、以下の通りに設定してください。

- ・単体接続の場合:「4Mbps」と「115.2Kbps」のみを使用してください。
- ・連鎖接続の場合:「115.2Kbps」のみを使用してください。

※設定方法と画面は、Win2000系と同じですが、画面を表示するまでの手順が違いますのでご注意ください。 手順は以下の通りです。

「コントロールパネル」→「ネットワーク」→ネットワークの設定画面で、「IRXpress USB Infrared - WindowsMe」を選択→詳細設定を選択→設定画面を表示。



4-1-2.アンインストール

アンインストールを行う場合は、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から「IRXpress USB IrDA」を削除してください。

藩 アプリケーション	の追加と削除		-D×
	現在インストールされているプログラム:	並べ替え(5):名前 💽
プログラムの変	🔯 Adobe Acrobat eBook Reader		
更 2月119ホ	🔛 BarStar Pro	サイズ	844 KB
	🛃 CASIO SPEEDIA Copy Guard system files (N5)	サイズ	764 KB
	↓ ↓ CASIO プリンタドライバ	サイズ	0.98 MB
ノロクラムの加重	付 ComStar	サイズ	836 KB
	DownloadUpload Utility		
	Hand Held Products QuickView	サイズ	876 КВ 📕
Windows コンポ	🔣 Hand Held Products Visual Menu	サイズ	1.92 MB
ーネントの追加 と削除	TIRXpress USB IrDA	サイズ	<u>240 KB</u>
		使用頻度 最終使用日	低 2002/11/27
	このプログラムを変更したり、コンピュータから削除するに は、[変更/削除] をクリックしてください。		更/削除(<u>C</u>)
	🔛 LabelStar Pro デモ版		
	🚳 Microsoft ActiveSync 3.5		
	🛱 Microsoft eMbedded Visual Tools (日本語)	サイズ	146 MB 🔳
			閉じる(<u>0</u>)

※アンインストール終了後は、PCの再起動を行ってください。 ※アンインストールは、I/O BOXの電源を落とした状態で行ってください。



4-2.RS-232C ドライバインストール

RS-232C ドライバのインストール手順について説明します。

4-2-1.インストール

以下の手順で、(1)~(6)の説明は全 OS 共通です。「4-2-1-1.全 OS 共通」をご覧ください。 (7)以降の説明は、OS により異なりますので、「4-2-1-2.Win2000 系」と「4-2-1-3.WinMe 系」をご覧ください。

4-2-1-1.全 OS 共通

(1) 供給されたメディアから「IRXpressSerialIrDA.exe」を起動してください。

🔁 Driver		
」 ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻)	お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)	1
] ← 戻る ▾ ➡ ▾ 🖬 🛛 🖓 検索	┗コォルタ ③履歴 階 階 🗙 ∽ 囲•	
] アドレス(<u>D</u>) 🧰 Driver		▼ 🔗移動
Driver	IRXpressSeria IrDA	
IRXpressSerialIrDA アプリケーション	_	
更新日時: 2002/11/13 15:12		
サイズ: 1.09 MB		
属性: (標準)		
種類: アプリケーション サイズ: 1.09 MB	ן1.09 MB 🖳 דר באצב	1-9 //



(2)「IRXpressSerialIrDA.exe」を起動すると、「InstallShield Wizard」が準備されます。

🔁 Driver								_ 🗆 🗙
] ファイル(E) 編	課(E) 表示(⊻ お気に入り(も ふーれく	ローハルブ	(<u>H</u>)			1
← 戻る ・ →	- 🗈 🛛 🐼 🕏	検索 唱フォルダ	③履歴	12 13	$\times \infty$	•		
] アドレス(D) 🧰	Driver						•	∂ 移動
Driver		IRXpress	Beri					
IRXpressSeri アプリケーション 更新日時: 2002 サイズ: 1.09 MB	allrDA /11/13 15:12							
属性: (標準)	InstallShield V	Vizard			×			
	IR) Ins thr wa	Kpress Serial IrDA stallShield(r) Wizard ough the rest of th iit. 4	Setup is prep Iwhich will g e setup proce 1 %	paring the uide you ess. Please	,]			
種類: アプリケーショ	ンサイズ: 1091	MB			9 MB		·イ ገንሥነ/	2

(3) 準備が完了すると、バックグラウンドが「InstallShield Wizard」 画面に切り替わります。

🕼 InstallShield Wizard	
IRNpress Serial IrDA ver 1.1	
	1 人 48: 🕺 🖬 🕅 🏄 🕬



(4) バックグラウンドが切り替わった後、セットアップ画面がポップアップ表示されますので、「Next」をクリック してください。



※以降の説明では、バックグラウンドを除いたポップアップ画面のみを表示します。



(5) インストール先を指定し、「Next」をクリックしてください。

IRXpress Serial IrDA – InstallShield Wizard 🔀 🔀	
	Setup will install IRXpress Serial IrDA in the following directory. To install to this directory, click Next. To install to a different directory, click Browse and select another directory. You can choose not to install IRXpress Serial IrDA by clicking Cancel to exit Setup.
~	Destination Directory C:\\IRXpress\IRXpress Serial IrDA Browse
InstallShield	< <u>B</u> ack <u>Next ></u> Cancel

特に指定のない場合は、自動的に"C:¥Program Files"の下に「IRXpress」→「IRXpress Serial IrDA」 フォルダが作られ、そこにインストールされます。

他のフォルダにインストールする場合は、「Browse」をクリックし、インストール先を指定してください。

(6)インストール先の設定条件が表示されますので、「Next」をクリックしてください。

IRXpress Serial IrDA - Inst	Setup has enough information to start copying the program files. If you want to review or change any settings, click Back. If you are satisfied with the settings, click Next to begin copying files.
	Current Settings: Setup Type: Complete Target Folder C:\Program Files\IRXpress\IRXpress Serial IrDA User Information Name: Company:
Instaliameld	< <u>B</u> ack <u>Next></u> Cancel

※これ以降は OS により手順が違いますので、各 OS 毎の説明を参照してください。 尚、各 OS 毎の説明は(7)~になります。



4-2-1-2.Win2000 系

4-2-1-2-1.インストール

(7) インストールが完了しましたので、「Finish」をクリックしてください。

IRXpress Serial IrDA – InstallShield Wizard	
InstallShield	Setup has finished copying files to your computer. Before you can use the program, you must restart Windows or your computer. Yes, I want to restart my computer now No, I will restart my computer later. Remove any disks from their drives, and then click Finish to complete setup.
	< <u>B</u> ack Finish

PCを再起動しますので、使用中の他のアプリケーションは終了させてください。 ※「Yes・・・」にマークし、PCの再起動を行ってください。



4-2-1-2-2.通信速度/ポートの設定

RS-232Cドライバインストール終了後、下記手順で通信速度の設定・変更を行います。

(1) 通信速度の設定

「コントロールパネル」の「デバイスマネージャー」から、「CASIO IRXpress Serial Intrared」のプロパティを開いて通信速度を選択し、「OK」をクリックする。

CASIO IRXpress Serial Infraredのプロパティ	<u>? ×</u>
全般 詳細設定 ドライバ	
このネットワーク アダプタでは次のプロパティを利用できます。: リックしてから、右側でその値を選択してください。	左側で変更するプロパティをク
プロパティ(P): COM Port Maximum Connect Rate): 5200 bps
	OK キャンセル

※通信速度の設定では、「115.2Kbps」のみを使用してください。

※上記設定画面を表示するまでの手順は以下の通りです。

「コントロールパネル」→「システム」→システムのプロパティ画面で、ハードウェアを選択

→デバイスマネージャを選択→赤外線デバイスの「CASIO IRXpress Serial Infirated」を選択 →詳細設定を選択→上記設定画面を表示。



(2) ポートの設定

「コントロールパネル」の「デバイスマネージャー」から、「CASIO IRXpress Serial Intrared」のプロパティを開いてポートを選択し、「OK」をクリックする。

CASIO IRXpress Serial Infraredのプロパティ	<u>?</u> ×
全般 詳細設定 ドライバ	
このネットワーク アダプタでは次のプロパティを利用できます。左側で変更するプロ/ リックしてから、右側でその値を選択してください。	パティをク
プロパティ(P): 値(い): COM Port Maximum Connect Rate	V
OK *	キャンセル

※上記、(1)(2)の設定画面を表示するまでの手順は以下の通りです。

「コントロールパネル」→「システム」→システムのプロパティ画面で、ハードウェアを選択 →デバイスマネージャを選択→赤外線デバイスの「CASIO IRXpress Serial Intrared」を選択 →詳細設定を選択→上記設定画面を表示。

4-2-1-2-3.RS-232Cを通常のポートとして使用する

RS-232C ドライバをインストールした P C では、RS-232C が赤外線デバイスに見なされるため、通常のポート として使用出来なくなります。

これを使用可能にするには、ドライバを無効にして下さい。

<操作手順>

「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」→「赤外線ポート」→「IRXpress USB Infrared」をダブルクリック → 「プロパティ」の「全般」で「デバイスの使用状況」を「無効」にして再起動します。



4-2-1-3.WinMe 系

4-2-1-3-1.インストール

(7) 赤外線デバイスのインストール画面が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



(8) デバイスの設定画面が表示されますので、デバイスを指定し、「OK」をクリックしてください。

赤外線デバイス ウィザード	×
赤外線デバイス。 [0K] をクリック は、[ディスク係	の製造元とデバイスの種類をクリックし、次に ?してください。インストール ディスクがある場合 :用] をクリックしてください。
製造元(<u>M</u>):	赤外線デバイス(<u>D</u>):
(赤外線 COM ポートまた	J IRXpress Serial Infrared - Windows Me
CASIO Computer Co.,	
	<u>ディスク使用(世)</u>
	OK キャンセル

〔設定〕

- ・製造元 :CASIO Computer Co.,
- ・赤外線デバイス:インストールを行うPCのOS(WindowsMe)を選択してください。



(9) ポートを指定し、「次へ」をクリックしてください。

赤外線デバイス ウィザード	
	次の赤外線デバイスを選択しました: IRXpress Serial Infrared - Windows Me
	COM Port
	項目を選択し、D欠ヘ」をクリックしてください。
	< 戻る(B) 次へ > キャンセル

(10) 通信速度を指定し、「次へ」をクリックしてください。

赤外線デバイス ウィザード	
	次の赤外線デバイスを選択しました: IRXpress Serial Infrared - Windows Me
	Maximum Connect Rate
	115200 bps
	38400 bps 9600 bps
1000 AND A	
	商田太潔博」 「たん」 たわいかけ アイボない
	AL 2/21/01 DAL 20000000000
	< 戻る(B) 次へ > きゃうけれし

※通信速度の設定では、「115.2Kbps」のみを使用してください。



(11) 通信ポートの設定を行って、「次へ」をクリックしてください。

赤外線デバイス ウィザード	
	 シミュレート用のシリアルボートとプリンタボートを選択してください。 赤外線アプリケーションはこれらのボートを通じて赤外線デバイスにア クセスします。 赤外線シリアル (COM)ボート: OOM6 赤外線プリンタ (LPT)ボート: LPT5 これらを赤外線ボートとして使用するには、[既定のボートを使う]を クリックしてください。 別のボートを指定するには、[ボートを変更する] をクリックしてください。 ()既定のボートを使う(推奨)) ()ポートを変更する
	< 戻る(B) 次へ > キャンセル

設定は「既定のポートを使う」を選択してください。

(12) 設定が終了しましたので、「完了」をクリックしてください。





(13) インストールが完了しましたので、「Finish」をクリックしてください。

IRXpress Serial IrDA - InstallShield Wizard	
Image: second se	Setup has finished copying files to your computer. Before you can use the program, you must restart Windows or your computer. Yes, I want to restart my computer now No, I will restart my computer later. Remove any disks from their drives, and then click Finish to complete setup.
עפוויינוופאיזי	< <u>B</u> ack Finish

PCを再起動しますので、使用中の他のアプリケーションは終了させてください。 ※「Yes・・・」にマークし、PCの再起動を行ってください。



4-2-1-3-2.通信速度/ポートの設定

RS-232Cドライバインストール終了後、下記手順で通信速度の設定・変更を行います。

(1) 通信速度の設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」から、「IRXpress Serial Intrared - WindowsMe」のプロパティを開いて通信速度を選択し、「OK」をクリックする。

※通信速度の設定では、「115.2Kbps」のみを使用してください。

※設定方法と画面は、Win2000系と同じですが、画面を表示するまでの手順が違いますのでご注意ください。 手順は以下の通りです。

「コントロールパネル」→「ネットワーク」→ネットワークの設定画面で、「IRXpress USB Infrared - WindowsMe」を選択→詳細設定を選択→「Maximum Connect Rate」を選択→設定画面を表示。

※設定後は、画面の表示に従い、PCの再起動を行ってください。

(2) ポートの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」から、「IRXpress Serial Intrared - WindowsMe」のプロパティを開いてポートを選択し、「OK」をクリックする。

※設定方法と画面は、Win2000系と同じですが、画面を表示するまでの手順が違いますのでご注意ください。 手順は以下の通りです。

「コントロールパネル」→「ネットワーク」→ネットワークの設定画面で、「IRXpress USB Infrared - WindowsMe」を選択→詳細設定を選択→「COM Port」を選択→設定画面を表示。

※設定後は、画面の表示に従い、PCの再起動を行ってください。

4-2-1-3-3.RS-232Cを通常のポートとして使用する

RS-232C ドライバをインストールした P C では、RS-232C が赤外線デバイスに見なされるため、通常のポート として使用出来なくなります。

これを使用可能にするには、ドライバを無効にして下さい。

<操作手順>

「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「Infrared devices」→「IRXpress USB Infrared – WindowsMe」をダブルクリック → 「プロパティ」の「全般」で「デバイスの使用状況」を「無効」にして再起動します。



4-2-2.アンインストール

アンインストールを行う場合は、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から「IRXpressSerialIrDA」を削除してください。

※アンインストールの手順は、USBの場合と同じです。

「4-1-2.アンインストール」を参照してください。 ※アンインストール終了後は、PCの再起動を行ってください。 ※アンインストールは、I/O BOXの電源を落とした状態で行ってください。



§5. 注意事項/制約事項

アップダウンロードを行う際の注意事項/制約事項に関して説明します。

5-1.注意事項

- (1) PC に USB/RS-232C のドライバをインストールする際は、クリーンな状態の PC にインストールして ください。
- WindowsMeは、同一PC上でUSBあるいはRS-232Cのどちらか一つの接続しか動作しません。
 必ず、別のドライバがインストールされていないことを確認してから、インストールを行ってください。
 (別のドライバがインストールされている場合は、必ずアンインストールを行ってください。)

ドライバを変更する際の手順は、次の通りです。 RS-232C 接続のセットアップ状態を USB に変える為には、必ず RS-232C ドライバをアンインストール してから、USB ドライバをインストールしてください。(USB→RS-232C の場合も同様です。)

(3) ドライバのインストール/アンインストール終了後は、PCを再起動させてください。

アンインストールは、I/O BOX の電源を落とした状態で行ってください。

- (4) Windows2000/XPとWindowsMeでは、ドライバのインストールを行う際、手順に違いが発生 しますので、ご注意ください。
- (5) USB で接続する場合、I/O BOX の電源を ON にすることで、コントロールパネルの赤外線 デバイスに USB デバイスが表示されます。
- I/O BOX のディップスイッチを変更する際はよく確認し、必ず I/O BOX の電源を切った状態で行ってください。
 また、ディップスイッチを変更する際は、設定を間違えない様注意してください。
- (7) 通信中の I/O BOX の電源 OFF やケーブル抜きは行わないでください。
- (8) 連鎖接続を行っている場合、HT 側で"ActiveSync"を同時に接続させようとするとエラーになります。 "ActiveSync"を動かす場合は、1台ずつ動作させてください。
- (9) インストール終了後にコントロールパネルから通信速度の設定を変更する場合は、 必ず、ActiveSync 等のアプリケーションを終了させてから行ってください。



- (10) B.S I/O BOX を用いて Win2000 系で通信を行う場合は、必ず USB か RS-232C のどちらか 一方のみを使用してください。
- USB ドライバのインストール時/インストール後の通信速度の変更の際は、以下の通りの 設定にしてください。
 ・単体接続の場合 : 「4 Mbps」と「115.2Kbps」のみを使用してください。
 ・連鎖接続の場合 : 「115.2Kbps」のみを使用してください。
- (12) HTの設定・使用方等については、HTのマニュアル(仕様書)等を参照してください。

5-2.制約事項

制約事項については、別紙を参照してください。



